



2022 年度
第 27 号

体育市民連帯 ニュースレター

大韓民国スポーツの

根本的変化を

皆さんと共に

作って行きたいです

体育市民連帯と共に

していただけますか？

体育市民連帯執行委員コラム
小学校シルム部部长教師の
先進型学校運動部運営
についての小考



체육시민연대
Civic Network for Justice in Sport

学生の
「運動権」は
基本権ではないですか



김양희 記자의 스포츠 읽기

進路変更
学生選手を助ける…
教育部
相談プログラムの運営



教育部
17 市道教育厅
全国小中高選手対象に
暴力被害実態調査



少年体育大会の
テニス済州選手
失格負け問題…
結局、警察の捜査

雇用労働部
「職場内いじめ」
蔚山市体育会長に
過料賦課

01 体育市民連帯執行委員コラム

小学校シルム部部长教師の先進型学校運動部運営についての小考

チョン・ジョンムン | 体育市民連帯執行委員/山清初等学校教師



第51回全国少年体育大会が2022年5月28日から31日までの4日間、慶尚北道龜尾市で開催された。COVID-19によって全国少年体育大会は2020年未開催、2021年種目団体別主管大会として行われ、学生選手をはじめ指導者、保護者など多くの人に残念な気持ちを残したことがある。学生選手と指導者は2年という空白を汗で埋めてきたし、熱い熱気の中で大会が終わった。筆者は現在、小学校シルム部の部長教師業務を担当しており、学生選手および学校運動部の指導者と現場で呼吸した2年間の経験をもとに、小学校運動部(シルム部)の現況と課題を論じようと思う。

第一に、先進型学校運動部育成のための政府の政策と学校現況を話そうと思う。毎年教育部では「学校体育活性化のための基本推進計画」を発表するが、2022年には主要推進課題を4つに設定した。このうち「自己主導的未來型体育人材育成」と「教員および体育指導者専門力量強化」等、2つの課題が学校運動部と関連した指針だ。

まず、「自己主導的未來型体育人材育成」課題は学習権保護制度基盤強化、オーダーメイド型進路指導支援拡大、人権保護および暴力予防・対応強化などを実現しようと思う。これに伴い、初等学校では「生徒選手出席認定欠席許容日数」が5日に縮小され、「最低学力制」は国語、英語、数学、社会、科学など5教科の成績が50%以上到達するように生徒選手の学習権保障のために努力している。特に、学期ごとに最低学力制基準に未達の学生選手は大会参加を制限しており、彼らが基礎学力保障プログラムを履修してこそ大会参加を許容するようにしている。一方、学生選手の人権保護のために年2回の校内暴力予防教育とスポーツ分野の人権教育を実施し、学校運動部指導者が学生選手当たり月1回の相談実施および日誌を作成するよう勧告している。このような政策は種目別協会にも反映されてもいる。例えば、大韓シルム協会は大会参加時、2021年までに出席認定欠席日数と最低学力制だけを点検したが、2022年には学校暴力措置処分履歴まで点検している状況だ。次に、「体育指導者専門力量強化」の課題は専門職務教育と暴力予防および人権教育などをオン・オフライン教育で施行している。学校運動部指導者専門職務教育は新規指導者は15時間、保守教育者は(訳注:資格取得者に5年ごとに実施する教育)16時間研修に参加させ、指導者の資質およびスポーツ専門性を育成させている。また、学校運動部内暴力予防のために学校運動部指導者暴力予防および人権教育を2年周期で再教育している。

第二に、先進型学校運動部育成のための市道教育庁の努力だ。筆者が勤める慶南教育庁は小・中学校の学校運動部を「重点スポーツクラブ」と「地域型スポーツクラブ」に切り替えるために努力してきた。重点スポーツクラブは以前の独立した運動部概念(学生選手クラス)を学生たちと共にするサークル形態(学生趣味クラス)に拡大するもので、学生選手だけでなく該当種目に趣味を持つ一般学生、他校学生も含むものだ。これを通じて、学習権の保障で競争力のある学生選手の育成と潜在的な学生選手の底辺拡大のた

めに努力している。また、地域型スポーツクラブは俗に言う地域型および公共型スポーツクラブと類似した概念でサッカーと野球種目で運営され、地域化を通じた底辺拡大と先進型プログラムを提供するために努力している。また、慶南道教育庁奨学士の業務の一つとして「スポーツ革新委員会」を別途設定するは第三に、先進型学校運動部育成のための政策と現場の乖離である。代表的に、学校運動部が経験した「学生選手出席認定欠席日数」縮小と関連したシルム部運営の困難だ。2021年11月、大韓体育会は2022年初等学校出席認定欠席の受容を「0日」と発表し、種目団体の意見を取りまとめた。この過程で現場の強い反対により再び「5日」に拡大され、学校運動部はこれに基づいて大会に参加している。問題はシルムのような階級種目は体重調節とこれを回復する時間がかかり、通常体重測定は大会前日に実施されるという点だ。さらにシルム大会は7階級の個人戦と7戦4先勝制の団体戦で進行されるが、一日で予選戦から決勝まで日程を消化するには多くの困難が発生する。すなわち、ある初等学校シルム部が全国規模大会に参加するために2泊3日の時間がかかると判断される。2022年度は相対的に出席認定欠席日数が多い中・高等学校部の配慮により一部大会で小学生部は金曜日から日曜日まで大会日程を配分されている。したがって、学生選手の出席認定欠席日数を0日に調整するという政策は、階級種目をはじめ学校運動部の現実を考慮して再検討される必要がある。

続いて、不人気種目であるシルムの大会運営方式も検討される必要がある。多くの先行研究で学校運動部先進化政策の代案として週末リーグ、圏域別大会、休み期間中の大会運営などを勧告している。しかし、シルムのような非人気種目はこのような勧告を受け入れるのが難しいのが現実だ。一般的に専門体育人が参加する全国規模のシルム大会は一般部、大学部、高等部、中等部、初等部と女子部などが7～8日間の日程を有機的に消化する日程で進行される。これは、土俵作りや競技場確保など経済的な面と大会運営陣や審判陣など人的資源募集の困難を考慮したものと判断される。また、不人気種目は地域内の制限された学校運動部数により圏域別大会の競争力もまた不足している。このため、近隣地域の全国規模大会に参加し、学生選手の技量を発揮する機会にもなる。したがってシルムのような不人気種目の大会日程と準備過程への適応を考慮するならば、大会運営方式も現実的な代案が必要だと判断される。

第四に、先進型学校運動部育成のための筆者の提案だ。まず、学校運動部に対する理解と先進型学校運動部育成のための全国民的共感形成が必要だと判断される。これまでエリート政策に代表される学校運動部は多くの問題点を露出してきたし、これを改善するために関係者たちが献身してきた。しかし、当事者である学生選手と保護者は新しく流入した人材で、学校運動部の情報は学生選手として生活していく中で得ることになる。したがって、学校運動部に対する理解と改善を図るために、全国民的キャンペーンと多様な見解での情報提供などのための努力が要求されると判断される。次に先進型学校運動部運営のための政策実行と共に代案提示が並行された状況での漸進的改革が必要だと判断される。先立って記述したように「学生選手出席認定欠席日数」が起こした現場の混乱を考えるならば、この主張の根拠を理解することができる。

小学校は生徒選手の出発という側面で学習権保障、人権意識形成など正しい学校運動部文化の基礎を固める必要がある。また、シルムのような不人気種目の特性を考慮し、先進型学校運動部育成のための現実的な政策も考慮されなければならない必要がある。今後、高度成長期のエリート体育政策が量産した学校運動部の不足点を認識改善と手続き的補完を通じて先進型学校運動部に生まれ変わることを期待する。

02 ハンギョレ 2022. 07. 04 金ヤンヒ記者の「スポーツを読む」 学生の「運動権」は基本権ではないですか



김양희 기자의 **스포츠 읽기**

小学校6年生の娘は足が痛いと言った。理由を聞くと、学校の体育の時間に足球（訳注：ジョック、韓国発祥のフットボールテニス）をしたという。それと共に「私たちB組が今回初めて勝った!」と浮かれた。翌日にはラグビーをするつもりだ」とし「A組は本当にインチキだ。ボールを全部交わした後、隣を見るとA組の子たちは全部終わらせて席に座って遊んでいる」とぶつぶつ言った。A組にはクラスで運動が得意な子供たちがみんな集まっているという。「ところでC組では班長だけが上手だが、あの子はサッカーの試合中に靭帯を怪我したというのに、一人で飛び回っている」子供の話は絶えなかった。

娘は体育があまり好きではない。体育の時間がある日の朝には「今日もきっと足球をする」と文句を言う。それでも授業を終えて家に帰ると、その日の体育時間についてだけ話す。国語、数学、英語などの授業を尋ねると「大丈夫だった」と短答型だけで答える。

体育というのはそうだ。お互いに関心を持たせる。教室の机に座ってほとんどの時間をお互いの後頭部だけを見て運動場（あるいは体育館）という開かれた空間に出ると、そのままクラスメートの姿を見ることになる。足球をしようがラグビーをしようが他人の指先、つま先に集中ようになる。世の中は結局、一人ではなく一緒に作っていくということに気づき、勝敗の意味も振り返ることになる。世の中には絶対に「文」だけでは学べないことがある。

チームスポーツが子供の精神健康にどれだけ役立つか調査発表された最近の論文もある。米国カリフォルニア州立大学マット・ホフマン運動学博士などが6月初め、〈フロスワン〉ジャーナルオンラインに掲載した研究によると、バスケットボール、サッカーなどチームスポーツに参加した子供たちは不安、うつ病、社会性および注意力欠乏の兆候をあまり見せていないことが分かった。

この研究は1万1000人以上の米国の子供(9~13歳)の両親を対象にアンケート調査した結果を土台に発表されたが、研究結果を見るとチームスポーツをした子供はそうでない子供と比べて不安指数が10%、社会性欠乏指数が17%、うつ病指数が19%低かった。興味深いことに、チームスポーツではない個人スポーツをする子供は、そうでない子供に比べて不安指数などがより高く出た。

カリフォルニア・サンノゼのジュリアン・ラゴイ精神医学科博士はこれについて、「チームスポーツが子供たちに与える利点の一つは、自分より偉大なもの(チーム)の一部になる方法を学ぶことになる」とし、「チームが勝ったり負けたり、他の人たちと共有することになるので、敗北の感情をさらに耐えられ、勝利の感情をより楽しむことができる」と解釈した。スポーツインフラが非常に不足している韓国で、チームスポーツを最も簡単に経験できる場所は、まさに学校、そして学校体育の時間だ。

「学生選手(エリート選手)は学生か、選手か」という論争の中で「学習権」という言葉が出た。これは「学生は学ぶ人」という基本概念から出発する。ここで見過ごされたことがある。学生選手の「学習権」は主張しながら、非学生選手(一般学生)の「運動権」にはそっぽを向く。運動権は学生の基本権ではないだろうか。生徒たちの情緒的、精神的貧困が深刻化する中で、現在週当たり2時間だけの高等学校体育時間まで縮小の動きがあるためだ。

出典：<https://www.hani.co.kr/arti/sports/baseball/1049488.html>

03 聯合ニュース 2022.07.11

進路変更、学生選手を助ける…教育部、相談プログラムの運営



教育部と17市道教育庁、学校体育振興会は学生選手を対象に進路・進学相談プログラムを運営すると11日明らかにした。

このプログラムは専門選手を希望する学生選手と負傷や成績不振などの理由で進路を途中で変更する学生選手たちに色々なスポーツ分野の進路探索と設計を支援するために2019年から施行されている。

今年からは支援対象を1600人に大幅に増やし、1対1の非対面相談、訪問進路相談などを運営する。

学生選手の進路・進学相談支援対象は2019年100人余り、2020年200人余り、昨年300人余りから今年1600人余りに大きく増えた。

学生選手、進路転換学生または保護者など320人余りを対象に1対1で色々な進路開発事例を紹介し、体育関連系列の大学進学相談などをしてくれる。

1対1相談は24日まで毎週土曜日と日曜日に非対面で行われ「学校体育ポータル」を通じて先着順募集する。

<2022年 学生選手の進路・進学相談プログラム概要>

区分	1:1 非対面相談	訪問する進路・進学相談
対象／人数	中1～高3 学生選手、進路変更学生及び父母／320余名	全国体育高校のうち希望校／500余名
内容	体育分野の進路・職業案内 体育系列転向分析及び進路事例紹介	学生選手の進路・進学特別講義、 体育系列転向分析及び支援など
方法	(非対面) 最大40分間 1:1 相談	(対面) 進路特別講義、 グループ別又は個別相談
日程	2022.7.9(土)～7.24(日)まで毎週土日	2022.7.7(木)～7.15(金) 学校別日程

訪問する学生選手の進路・進学相談は事前申請した光州体育高校、蔚山スポーツ科学高校、江原体育高校、忠南体育高校などで学生選手500人余りを対象に進行する。

現職教師などで構成された14人の進路相談支援団が直接相談に乗り出す。

教育部は進路相談支援団の人材資源を今年14人から来年30人、2024年50人、2025年100人まで増やし、訪問する学生選手相談も拡大運営する計画だ。

今年下半期には体育高校だけでなく、学校運動部を運営している一般学校でも訪問進路相談を行う予定だ。

出典：<https://www.yna.co.kr/view/AKR20220530103300007?input=1195m>

04 メディカルワールドニュース 2022.07.08

教育部、17 市道教育庁全国小中高選手対象に暴力被害実態調査



教育部が6月13日から7月8日まで17市道教育庁と共に全国小・中・高校の学生選手約7万人を対象に4週間の暴力被害実態調査を行う。

今回の暴力被害実態調査対象には学校運動部所属の学生選手と選手登録後に個別に活動する学生選手まで含まれ、進行手続きは次の通りだ。

学校は学校運動部関係者の影響力を排除し、生徒たちが調査に積極的に参加するよう実態調査の必要性および手続きについて事前説明など教育を実施する。

以後、学生選手たちは付与された調査の接続経路(URL、QRコード)を通じて個人空間で自由にオンラインアンケートに参加すれば良い。

調査完了後、教育部と市道教育庁は暴力被害回答者がいる学校を把握し、該当学校に案内し、関連手続きにより被害者保護措置と加害者に対する厳正な後続措置を実施する。

教育部体育芸術教育支援チームは「今回の調査は被害者を早期発見し学生選手保護を強化し積極的な申告文化を定着させるために調査時期を約40日繰り上げ、17市道教育庁で同じオンラインアンケート調査方式で実施される」とし、「教育部は学生選手暴力に対する実態をより深層的に把握するために調査質問項目を4領域[個人背景(7問)、目撃経験(5問)、被害経験(10問)、暴力に対する認識(5問)]に体系化した」と明らかにした。

続けて「暴力のない人権親和的な学校運動部文化の定着のために今回の調査結果を土台に学生選手暴力対応政策を持続発掘し推進する計画だ」と付け加えた。

一方、今回の実態調査は2020年学生選手人権保護強化方案(2020年12月15日)に基づき、2021年から定例化して実施しており、調査対象期間は2021年9月から実態調査時点までである。

出典：

http://192.168.65.254/main/fwUpInfoBlock.htm?url=http://medicalworldnews.co.kr/news/view.php?id_x=1510950511

05 ノーカットニュース 2022.07.04

少年体育大会のテニス済州選手の失格負け問題…結局、警察の捜査



今年、全国少年体育大会に済州代表として出場して失格負けを喫したテニス男子中等部選手団。親は道テニス協会と道体育会の責任を主張している。反面、道テニス協会と道体育会は互いに責任を転嫁している状況だ。結局、捜査依頼が行われ、真実は捜査機関で明らかになる見通しだ。

済州道体育会は5月、慶北亀尾で開かれた第51回全国少年体育大会当時、テニス男子中等部選手たちが故意の失格負けを喫したという疑惑に対して済州東部警察署に捜査依頼したと4日明らかにした。

事件直後、保護者たちが「道テニス協会関係者が選手を失格負けさせた」として問題提起をすると、道体育会スポーツ公正監察団は調査を行った。最近、調査が終わると、捜査依頼が行われた。道体育会の関係者は「監察団の調査には限界があり、警察に捜査を依頼することになった」と説明した。

2年待つて迎えた全国少年体育大会…その日何が？

取材陣が会った保護者たちの話を総合すれば、初試合日である5月28日午前10時55分、全北チームとの初試合を控え、A指導者は出場選手6人の名簿を提出した。しかし、名簿提出期限直後の同日午前11時2分、全北チーム指導者はA指導者の選手名簿提出に対して異議を申し立てた。

大会規定上、A指導者が大会コーチとして正式登録されていないため、選手たちが直接出場選手名簿を提出すべきだったが、そうでなかったためだ。相手チームの異議申し立てによって失格負けを喫した。

父兄たちは「道テニス協会の関係者は大会に先立って監督者代表会議に参加し、監督とコーチとして正式登録された人だけが出場選手名簿を提出することができ、これに違反すれば脱落する恐れがあるという注意事項を何度も伝えられた。それでも故意に保護者とA指導者にこの内容を伝えなかった」と主張した。特に、保護者らは大会開催1ヵ月前からA指導者を中等部コーチに選抜してほしいと何度も要請したが、道テニス協会から納得できない理由を挙げて拒否したと吐露した。昨年浮上した道テニス協会前役員の児童虐待事件と関連して「参考人」調査を受けたというのがその理由だった。

結局、済州を代表して出場した男子中等部選手たちはコーチもなしに大会に参加した。大会当日の朝、臨時方便として道体育会側が追加で発給した役員出入カードをA指導者に渡したが、無用の長物だった。会場への出入りが可能なだけで、男子中等部選手団を指導・監督する権限はないからだ。

今回の事件で父兄たちが故意失格負けを疑う理由は、これまで道テニス協会内の派閥間の争いで生徒たちが被害を受けていたためだ。この1年間、道テニス協会では、全役員が児童虐待や補助金横領、公益申告者保護法違反などの容疑で裁判を受けたり、捜査が進められている。

保護者たちは「道テニス協会の意思とは反対の相手のコーチに講習を受けているという理由で練習場もまともに使えず、大会出場のための支援も受けられなかった。結局、大人たちの戦いで2年間大会参加のために毎日熱心に血と汗を流しながら練習した子供たちが被害を受けた」と鬱憤を吐き出した。

「悔しい」…道テニス協会と道体育会で責任転嫁

このような疑惑について道テニス協会関係者は取材陣との通話で「監督・コーチ陣の名簿を伝達する際、道テニス協会役員の一を男子中学部コーチに選抜して道体育会に文書で提出した。しかし、道体育会で何の協議もなく、その役員を女子中学部コーチに変更した」とし、道体育会の責任だと主張した。

続いて「保護者が追加でA指導者をコーチに割り当ててほしいと要請したが、協会に属しているコーチではなく、選手たちの個人コーチだった。資格がないわけではないが、他の地域協会を見ても個人コーチを大会コーチに割り当てる事例がない。問題が生じれば責任を問うことが難しいからだ」と明らかにした。同関係者はまた、「監督とコーチとして正式登録された人だけが出場選手名簿を提出できる」という内容は大韓体育会が道体育会に伝えた内容だ。我々は受け取ったことがない」と主張した。また別の関係者は「本当に悔しい。司法機関を通じて明白にしてほしい」と吐露した。

反面、道体育会は「道テニス協会が責任を転嫁している」として当惑した。道体育会の関係者は、「未登録コーチが選手名簿を提出すれば失格になる可能性があるという内容を自分たちが受け取っておいて、なぜ私たちに責任を転嫁するのか分からない。大会種目の責任者は道テニス協会だ。責任がないというのは話にならない」と話した。

一方、故意失格負けなど各種議論が提起されると、先月 21 日、道体育会は理事会を開き、道テニス協会管理団体指定案件を議決した。定款上、会員種目団体が自ら組織を運営するのは難しいと判断されたり、内外で各種紛争に巻き込まれることになれば理事会議決を経て管理団体に指定することができる。

既存役員は解任された。今後、協会運営は道体育会が構成する管理委が引き受ける。

出典：<https://www.nocutnews.co.kr/news/5781642>

06 ニュース 2022.07.07

雇用労働部「職場内いじめ」蔚山市体育会長に過料賦課



釜山地方雇用労働庁蔚山支庁は 7 日、職場内いじめと関連して陳情が提起されたキム・ソクキ蔚山市体育会長に過料処分を下したと明らかにした。

蔚山市体育会職員 2 人は先立って昨年 11 月、キム会長が何度も怒鳴り、「(職級を)降格させる」、「求償権を請求する」等の発言を継続して苦しめていると

し、雇用労働部に陳情を提起した。

雇用労働部は最近、陳情人に返信を送り「被陳情人(キム会長)の行為は業務上適正範囲を越える職場内いじめに該当する」と明らかにした。

また「被陳情人が地位など優位を利用して被害者に身体・精神的苦痛または勤務環境悪化の結果を招いた点が認められる」とし、「被陳情人に過怠料を賦課し、事業場を改善指導する予定」と付け加えた。

市体育会幹部職員 1 人もキム会長からいじめられたと共に陳情を入れたが、雇用労働部は業務上適正範囲を越える言動や行動がなかったと見て職場内いじめと認めなかった。

出典：https://newsis.com/view/?id=NISX20220707_0001934712&cID=10814&pID=10800

07 週刊スポーツニュース

曹溪宗体育人禅法団、青少年テニス選手とテンプルステイ

<http://www.ibulgyo.com/news/articleView.html?idxno=218906>

「政府事業だと言いながらなぜ公文書は省略したのか」…「学校が分からないように学生たちを呼んだ」

<http://www.spochoo.com/news/articleView.html?idxno=102554>

「体育会をヤクザ集団と罵倒」…務安郡と体育会の葛藤の理由は？

<https://www.newsl.kr/articles/?4734880>

蔚山地方裁判所、体育会採用面接の質問資料流出で前体育会事務局長「執行猶予」

https://ccnews.lawissue.co.kr/view.php?ud=2022071109032033139a8c8bf58f_12

韓米など西側「ロシア・ベラルーシの国際スポーツ連盟資格停止すべき」

<https://www.yna.co.kr/view/AKR20220706008800071?input=1195m>

亀尾恵堂学校バスケットボール選手団、全国大会の授賞金で恵まれない人々のための寄付

<https://news.imaeil.com/page/view/2022070716362292299>

光州文化中学で7人のバスケットボール選手が成し遂げた奇跡のような勝利

<http://www.namdonews.com/news/articleView.html?idxno=687033>

32年前、「国民学生」パク・ヨンテクを説得したチェ・ジェホ監督「野球しようと毎日追いかけた」

<http://www.spochoo.com/news/articleView.html?idxno=102527>

チョ・セヒョク、ウィンブルドンテニス大会 14歳の部で男子シングルス優勝

https://newsis.com/view/?id=NISX20220711_0001938077&cID=10808&pID=10800

体育市民連帯オンライン 定期後援案内

万人が楽しむスポーツ世界、体育市民連帯が共に作ります。

私達連帯の活動に積極的に賛同していただくことを願います。

私たち体育市民連帯は体育人の権益保護と
福祉実現のために努力しています。
皆さんの小さな心づかいがより良い世界のための
体育市民連帯活動に強固な土台となります。
体育市民連帯会員として力になろうと
される方は下の口座に後援をお願いします。

国民銀行 086601-04-095940

口座名義：体育市民連帯

オンライン定期後援は下のリンクを通じてホームページからできます。

多くの関心をお願いします。

INFOMATION

体育市民連帯 ソウル市 瑞草区 瑞草洞 孝寧路 230 スンジョンビル 407号

Tel : 02-2279-8999、E-mail : sports-cm@hanmail.net ホームページ : <http://www.sportscm.org/>

日本語訳：佐藤好行 新日本スポーツ連盟 国際活動局 韓国担当 jr1fep@gmail.com

週刊ニュースレターバックナンバー（資料室） <http://www.yg.jpn.org/sportscm/index.html>